

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	CHEKA		
○保護者評価実施期間	2026年3月10日		～ 2026年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2026年3月10日		～ 2026年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年4月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援の提供	まずは保護者の方から、本児における細かな情報提供をお願いし、利用時の行動観察からの行動理解を、スタッフ一同の共通理解として情報共有を行っています。日々変わっていく子どもたちの利用時の様子や、ご家庭や学校での様子の情報共有を行っています。また年定期での障害特性の理解の研修等も行っていきます。	障害特性の情報は、日々アップデートされているため、より解像度の高い理解を進めていくためにも、研修内容の充実を図っていきたく。また支援員一人一人が意欲的に学びを得ることができるように、事業所として研修情報情報の開示を行っていきたくと思います。
2	面談や子育てに関する助言等の支援提供	保育士や社会福祉士など、専門性の高いスタッフの確保に努め、保護者の悩みに寄り添うことができるように、日々信頼関係の構築に努めています。	保護者との接点が限られているため、日々の送迎での情報共有・保護者参加型イベントでの統一支援援助、個別面談時の悩みの共有など、保護者との関係の構築を図り、いつでも気軽に声をかけやすいように努めて参ります。
3	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫	私どもの事業所では、調理活動をメインツールとして日々支援を行っていますが、土曜日や祝日、長期休暇等では、日頃できない自然体験や、公共交通機関体験等に力を入れています。また支援員からのイベント提示だけではなく、子どもたちが考えて行動する「自己判断・自己選択・自己決定」も大切にしています。	子どもたちの成長につながるイベントの情報獲得や、主催イベントの開催等企画を進めていきたくと思います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練の実施説明・周知	事業所で、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定していますが、各マニュアル自体を保護者の方々に確認していただく機会を設けておりませんでした。	今後は、契約時やモニタリング、支援計画等の共有時間の際に、保護者の方々に認知していただく時間を設けようと思います。
2	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施と周知	災害時を想定した避難マニュアルの策定や、非常災害時のシミュレーション、また非常災害時を想定した事業所内宿泊体験等を行っていますが、全保護者へ情報の周知徹底ができておりませんでした。	上記同様、契約時やモニタリング、支援計画等の共有時間の際に、保護者の方々に認知していただく時間を設けようと思います。
3	こどもの安全を確保するための計画や安全の確保が十分に行われた上で支援を行っていることの周知	日々の調理活動での危険因子確認や、事業所内での動線上のケア、終礼の際に新たな危険因子の情報共有を行っています。またイベントや外出活動でも同様に危険因子の確認と情報共有、スタッフの配置(人数・場所)での安全確保に努めています。保護者の方々への周知に不足がありました。	上記同様、契約時やモニタリング、支援計画等の共有時間の際に、保護者の方々に認知していただく時間を設けようと思います。また送迎の際に、当日起こった事案等をお伝えする際に、事業所として取り組んでいる安全確保の計画を重ねてお伝えしようと思います。